

平成 20 年 1 月 23 日

お客様各位

日本紙パルプ商事株式会社
代表取締役社長 松谷 克

再生コピー用紙に関するお詫びとお願い

この度、弊社ブランド再生コピー用紙を生産委託しております王子製紙株式会社より、過去の生産品の一部において古紙配合率の公称と実態に乖離のあることの説明がありました。自社ブランドにて供給をしていた弊社と致しましては、環境問題の重要性が増している中、結果的にこのような社会の信頼を裏切ることになったことは誠に遺憾であり、謹んで深くお詫び申し上げます。

尚、対象となる製品は下記の通りであり、既に弊社の在庫品に関しましては生産時期を確認し乖離のない製品に限定して出荷を開始しております。お客様の業務への影響を最小限にすべく、代替商品の提供など今後の対応につきましては、全力で取組む所存であります。さらに、弊社ブランド製品は当然のことながらすべての販売商品に対しまして改めて品質管理の徹底を製紙各社に強く要請するとともに、紙を使用するあらゆるお客様の信頼にお応えできますよう、尚一層努めて参る所存でございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

[対象となる製品]

商品名	07年4月～9月		07年10月以降	
	公称古紙配合率	実態古紙配合率	公称古紙配合率	実態古紙配合率
サンエースR100	100%	40%～100%	100%	100%
サンエースRW	70%	60%～70%	50%±10%	50%±10%
OA共用紙RW	70%	60%～70%	50%±10%	50%±10%

サンエースR100は昨年10月生産より古紙配合率基準 100%を順守して生産しております。

サンエースRWとOA共用紙RWは昨年10月生産より古紙配合率基準を 50%±10%へ移行し、現在も基準通り生産しております。

上記以外の弊社ブランドであるサンエース、サンエースMC、OA共用紙は公称通りバージンパルプ 100%にて、サンエースRFは公称通り古紙配合率基準 50%にて生産しております。

なお、本件に関するお問い合わせは、弊社「経営企画部経営企画課」までお願い申し上げます。(03-5201-6218)

以上